



フリー・ザ・チルドレン・ジャパン Free The Children Japan

2014 年度年次報告書 Annual Report 2014



フリー・ザ・チルドレン・ジャパンとは

フリー・ザ・チルドレン・ジャパンは、「子どもを助けられるのはおとなだけじゃない！」を理念に、日本の子どもや若者が国際協力活動に取り組み、開発途上国の支援を行っています。

ビジョン

フリー・ザ・チルドレン・ジャパンの目指す社会

世界中の子どもたちが「子どもの権利」を奪われることなく、
心もからだも健康に育ち、自身の夢や希望を実現できる社会。
そして、世界中の人々、特に子どもが国籍・宗教・年齢・性別・文化に
関係なく、互いを認め合い、互いに勇気付ける社会。

ミッション

フリー・ザ・チルドレン・ジャパンの使命

貧困や児童労働から子どもを Free（解放）すること。
「子どもは無力だ」という考えから子どもを Free（解放）すること。

活動内容

上記のビジョン・ミッションを達成するため、私たちは5つの事業を行っています。

子ども主体
事業

子ども活動
応援事業

海外自立支援
事業

ネットワーク
事業

アドボカシー
事業

2014 年度事業を実施して

2014 年度は、国連子どもの権利条約が採択されて 25 周年、日本で条約が批准されて 20 周年であり、フリー・ザ・チルドレン・ジャパンが日本で設立されて 15 周年の節目の年ということで、子どもの権利の中身と使い方を権利行使の主体者である子ども自身に全国規模で伝え、より多くの日本の子どもが子どもの権利を実感し子どもの権利が守られる環境作りに注力することを事業計画の大きな目玉に据えて活動に取組みました。その結果、日本の子どもや若者を対象に、子どもの権利や世界の子どもを巡る状況を伝える講演会やワークショップ、合宿型イベント（キャンプ）を通じて述べ 9,965 人に対して実施することができました。これほどまでの多くの子どもたちに直接アプローチできたのは、設立以来初めての事であり、事業に際し多くの方々のご協力頂いたお陰です。皆様に心よりお礼申し上げます。

2014 年度の重点課題の一つに挙げていた海外自立支援事業における質的支援拡充と災害地域の復興に向けた事業への取組みについては、2013 年 11 月に起きた超大型台風によって甚大な被害を受けたフィリピンのビサヤ諸島やミンダナオ島の貧困地域において、4 つの学校再建事業に取組み、5 つのコミュニティに対して村人の生計維持活動を実施し、2014 年度を通して 5,449 人を対象に緊急復興支援を行いました。また、2012 年、2013 年を通じてメンバーらが中心になって資金調達を行ったインド学校建設事業を 2014 年から支援地域でスタートすることができ、現在学校建設が行われています。

メンバーや協力者の方々など団体関係者の皆様に応じた、しっかりとした情報発信を行っていくために、新しいソフトでの個人情報管理システムの構築が 2014 年度の課題の一つでしたが、こちらは時間的にも人的にも資金的にも確保ができず、計画通りに業務を進めることができませんでした。これらの業務については 2015 年度に引継ぎ、実施に向けて優先的に取組んでいく所存です。



代表理事 中島早苗

もくじ

04	2014 年度を振り返る	24	フィリピン
06	国内事業報告	26	インド
08	子ども主体・子ども活動応援事業	27	モンゴル
16	アドボカシー事業	29	会計・監査報告
20	ネットワーク事業	31	メディア掲載
22	海外自立支援事業		

イベント出展・スピーカー派遣

(学校等へ出張講演含む)

65 回 / 参加人数 : **12,825** 人



▲全国各地から講演依頼をいただき、講演やワークショップを行うことができました。



▲プランタン銀座でチョコレートの

新規メンバーの登録数 : **332** 人

子ども及びユースメンバー合計 : **1,371** 人

(2015 年 3 月末)

A LOOK BACK AT 2014

2014 年度ご寄付・募金合計 **9,930,492 円**

たくさんの方々のご支援によって、国内外の子どもたちへの支援を行うことができました。
みなさまからの温かいご支援、心より感謝申し上げます。

▼養護施設運営支援 (インド)

児童労働や虐待から助け出された 3 ~ 14 歳の子ども
22 人に、健康診断を行ったうえで、学用品や
薬、食事を支給する支援を実施



▲大型台風復興緊急支援 (フィリピン)

台風被災者 **5,449** 人を対象に実施



◀15 周年特別事業：クレイグ講演会参加者

202 人

団体創設 15 周年を記念して特別事業を実施しました。クレイグ講演会には 202 名、講演会後の記念パーティーには 90 名以上の方が参加してくださいました。



▲ 15 周年特別事業：元少年兵ミシエル招聘

出張講演先 **19 カ所** 参加者 **4,000** 人以上



▲ Youth in Action Award 開催

「私のソーシャルアクション」をテーマにエッセイコンテストを実施。最優秀賞には学芸大学附属中等教育学校の小島千幸さんが選ばれました。



◀スタディーツアー実施（フィリピン）



図書室開設 ▶

第 92 号学校の子どもたち
(モンゴル)

国内事業

事業内容

国内事業では、日本の子どもたちの「やってみたい」という気持ちを引き出し、社会問題を解決するために行動する子どもたちの育成、サポートをするため、4つの事業を展開しています。



子ども主体事業... p8

子ども代表委員がリーダーとなり、子どもメンバーが子どもの意見やアイデアを集め、世界の子どもの権利を守るための事業を自ら企画し活動しています。



アドボカシー事業... p18

子どもやおとなに発展途上国の子どもの問題や子どもの権利について知らせ、人々の意識を高める事を目的とし、全国の学校、イベントなどでスピーチ（講演）、ワークショップなどを実施し、世界の子どもたちの状況や、子どもの権利のことを伝えます。



子ども活動応援事業 ... p9

子どもに気づきのきっかけを与え、スキルを身につける機会を提供するこの2つを目的として、日本の子どもたちが国際協力活動に取り組むための環境づくりをしています。



外部ネットワーク事業 ... p20

フリー・ザ・チルドレン・ジャパンのビジョン、ゴールを実現することを目指し、様々なセクター、組織と協働し活動しています。

子ども代表委員企画

2014 年度子ども代表委員

西野 彩妃 (大学一年生) 賀来 ゆり恵 (高校3年生) 佐光 真由子 (高校3年生)

林 優香 (大学2年生) サポート役

2014 年度 活動内容

* 目的・役割：

全ての子どもメンバーが安心して楽しく活動できる環境づくり。イベントを企画・運営するというより、地方と活動チームや、新しいメンバーと活動チームの仲介の活動をすること。

* 活動内容

活動ヒント講座にて、新しいメンバーへのアドバイス、サポート

内容：活動ヒント講座にきてくれたメンバーに同じ子どもメンバーとしてアドバイス。そのメンバーにおすすめのチームやアクションの起こし方などを説明。

活動ヒント講座

国際協力に興味はあるが何から始めればよいのか分からないという、小中高生や大学生に対して「活動ヒント講座」を毎月1回開催しました。世界の問題を映像や写真、ワークショップを通じて、自分の特技を活かした国際協力の活動を考えていくワークショップを行いました。

2014 年度も 2013 年度に引き続き「ようこそ先輩」と題して以前フリー・ザ・チルドレンで積極的に活動していた方々をお迎えして、当時の様子や現在どういった活動をされているかなどをお話していただいたほか、大学生ユースメンバーが企画・実施の講座も開かれました。



▲ユースメンバー主催で“マララ・デー”から考える女の子の教育についての講座も開かれました。



▲ようこそ先輩というテーマの講座では、メンバーとして活動していた先輩方をお迎えして、これまでの経験や現在の活動について教えてくれました。

チーム活動

フリー・ザ・チルドレン・ジャパンでは、メンバーが自分の特技や好きな事を活かして、国際協力に取り組むチーム活動をサポートしています。

2014 年度は 6 つのチームが活動しました。



募金チーム

▲募金チーム 月に 1 度のペースで街頭募金を実施。たくさんの方に募金にご協力いただきました！

フィルムクリエイター



【プロモーションビデオ1】



【プロモーションビデオ2】

▲フィルムクリエイターチーム

MiniWeday の参加者を集めるために、広報のための動画を作成しました。

福岡グループ



▲文化祭のバザー出店に向けてミーティングを行ったり、当日はフェアトレード商品の販売を行いました！（福岡）

神奈川グループ



▲街頭でチョコレートの販売、募金活動を行いました！（神奈川）

FTCJ KUMAMOTO



SAKURA Festa での Mini Weday の開催やイベントで FTCJ の紹介を行いました。（熊本）

FTCJ Kagawa



手作りのパンを焼き、知り合いのお店で販売し、売上を寄付しました。（香川）

関西グループ



児童労働反対ウォークを行いました！

Mini Weday



▲ MiniWeday チーム

世界の現状を音楽やスピーチ、ダンスなどを通して伝え、一歩を踏み出すきっかけを作るイベントを開催しました！

フェアトレード



▼フェアトレードチームイベントでフェアトレード商品の販売を行いました。

アンバサダーズ



▲アンバサダーチーム

出張講演でスピーチやワークショップのファシリテーターを行いました。

ちょこプロ



▲今年はインド学校建設支援のためのチャリティチョコレート販売しました！

学芸大学附属中等教育学校 (TGUSS girls)



▲国際問題について自分たちから働きかけるため、街頭募金を行いました！

グループ活動

学校や地域で仲間を集め、活動しているグループのサポートを行っています。
2014年度は新規で7つのグループが設立され、各地のグループの活動によって84万円の寄付が集まりました。

▼フィリピン支援のために街頭募金を行いました。

FTCJ 明学

暁光高校



街頭募金を行いました！（大阪）



テイクアクションキャンプ in カナダ

寄付協力：チャンピオン美容室



7月31日から8月11日まで、フリー・ザ・チルドレンが行っている、子ども・若者向けのリーダーシップトレーニング・プログラム、テイク・アクション・キャンプ (Take Action Camp:TAC) に 日本の子ども 若者が参加できるよう企画運営を行いました。TACでは、1週間生活を共にして参加型ワークショップやセミナー、アクティビティーを通じて、アクションを起こすために必要なスキルを身につけます。

2014年度は、株式会社チャンピオン美容室のご支援により、東日本大震災被災地域に暮らす子ども1名を招待することができ、日本からの参加者は12名でした。





参加者の声



早田 怜
(高校3年生)

キャンプの一週間、はじめて本当の自分でいたんです！自分抑えなくてただただその瞬間、目の前のこと楽しんで。そうしたらみんな、最高だよ！ってゆってくれて、ああ、素の自分でいいんだ、なにも偽らなくてもみんなは認めてくれるんだ、って気づきました。



小林 黎於
(中学2年生)

様々な国籍や経験を持つ人が集まりその中で生まれるであろう幅広い視点を得たいと思っていました。実際に多くの意見を聞くことで、僕の世界の見方にたくさんの変化があり、自分なりに大きく成長できたと思います。

テイクアクションキャンプ in ジャパン

寄付協力：株式会社 チャンピオン



春休み期間の3月31日から4月4日、千葉県内で、テイク・アクション・キャンプ in ジャパン（Take Action Camp Japan : TACJ）を開催しました。TAAJは、ワークショップやディスカッションを通して、参加者である子ども若者が社会で起きている問題を知り、その解決に向けて自らがどうアクションを起こすか考え、より良い世界のために活動するためのノウハウを学ぶ3泊4日で行われる合宿型ワークショップです。40名の中高生が参加し、14名のユースメンバーがファシリテーターを務めました。2014年度は、株式会社チャンピオン様のご支援により、東日本大震災被災地域に住む子ども2名を招待することができました。



参加者の声



永井智子
(高校3年生)

こんなにも自分の意識が変わるキャンプになるとは思わなかったほど、参加してよかったなと深く感じました。ファシリテーターさんたちや同じグループのメンバーが真剣に私の話を聞いて下さった事で、みんなの前で話すことへの勇気が湧きました。学校の後輩におすすめしたり、何らかの形で今後も活動に関わりたいと思います。



室内でチームに分かれディスカッションを行うワークショップや、外で体を動かしながら行うアクティビティもありました。

今までに学んできたことをもとに自分に何ができるのかを考えるワークショップを実施しました。自分の意見を言えるようになってきたみんなは話し合いも白熱！そして最後の夜は、キャンドルを灯して、自分を見つめるワークショップをしました。



『社会を良くするために自分たちにできることって何なんだろう？』みんな、悩んだり議論したりしながら、5日間、熱心に活動に取り組んでいました。参加してくださった皆さん、ありがとうございました！

スピーカー派遣

全国の学校や企業、イベントなどへファシリテーターを派遣し、生徒などの参加者の方々が社会問題を身近に感じ「自分は無力だ」という考えを捨て、「自分にもできる」という自分の可能性にきづくことのできるプログラムを提供しています。

ファシリテーター養成講座では、話すことが得意なメンバーがスピーチのトレーニングを実施しています。トレーニングを受けたファシリテーターと全国各地の学校やイベントで社会問題について考えるディスカッションを行ったり、チーム・ビルディングなどのワークショップを行っています。

2014年度は延べ56カ所の学校やイベントで12,825人に対してスピーカー派遣を実施することができました。

▼ファシリテーターのスピーチ



▼ファシリテーター養成講座のようす



▲学校での出張講演の様子

▲アンバサダーズのスピーチ

2014 年度 スピーカー派遣先一覧 (順不同)

小学校 : 6 校

調布市立若葉小学校、浦安市東野小学校、仁淀川町立別府小学校、板橋区立德丸小学校、大阪市立関目東小学校、正学院中学校高等学校

中学校 : 18 校

葛飾区立本田中学校、埼玉県熊谷市立玉井中学校、板橋区立桜川中学校、町田市立真光寺中学校、東洋英和女学院、東京学芸大学附属国際中等教育学校、世田谷区立桜ヶ丘中学校、和光中学校、Canadian International School、千葉国際中等学校・高等学校、K International School Tokyo、ぐんま国際アカデミー、同志社中学校、立命館守山中学校・高等学校、立命館宇治中学・高等学校、能勢町立東中学校、豊中市立第九中学校、桃山学院中学校高等学校、

高校 : 12 校

都立六本木高校、神奈川県立有馬高校、立命館守山高等学校、横浜市立横浜商業高等学校、大阪暁光高校、神奈川県立神奈川総合高校、横浜雙葉高校、玉川学園、京都市立堀川高等学校、大阪府立能勢高等学校、東京都立国際高等学校、栃木県立益子芳生高等学校

大学・大学院・専門学校 : 9 校

上智大学グローバルコンサーン研究室、日本医歯薬専門学校、尚絅学院大学、創価大学、上智大学大学院、拓殖大学、文京学院大学、立教大学、上智大学

その他 (団体、イベント等) 11 カ所

せんだい地球フェスタ、パルシステム東京あおと委員会、グローバルフェスタ、RYOZAN PARK CORE、Vital Japan、子どもの権利条約フォーラム、NPO 法人東京シュレー、新潟ボランティアセンター、独立行政法人国際協力機構、日本国際保健医療学会学生部会 春の保健集中セミナー、第 3 回国連防災世界会議

派遣先合計 : 56 カ所

参加人数合計 : 12,825 人

15 周年事業実施

設立 15 周年を記念して、今後多くの日本の子どもや若者が自発的に社会問題に取り組めるよう環境づくりを進め、より良い世界の構築につながるよう 15 周年を機に 5 つの特別事業を実施しました。

また、事業実施に際し 15 周年募金を 300 万円を目標に実施し皆様のあたたかいご協力により、3 月末までに 270 万円以上のご寄付が集まりました。ご協力ありがとうございました。



① 15 人の女性の自立支援

目標金 30 万円
集まったご寄付
10 万円

② 元少年兵 ミシェル招へい

目標金 110 万円
集まったご寄付
159 万 8938 円

③ 15 周年記念教材の開発

目標 60 万円
集まったご寄付
0 円

④ FTC 創設者 クレイグ招へい

目標金 50 万円
集まったご寄付
32 万 3,634 円

⑤ Youth in Action Award (表彰)

目標金 50 万円
集まったご寄付
11 万円 8,020 円

⑥ 寄付先指定なしで集まったご寄付 63 万 6,785 円 ※目標金に到達しなかった事業に分配させていただきました。

フェアトレード商品販売

フェアトレードチーム開発商品



支援先であるフィリピンのブレダ基金やフィリピンにあるフェアトレードショップ、FTC カナダより仕入れている、フェアトレード商品の販売を行っています。2014 年度は、フェアトレードチームの開発した商品を仕入れ、販売を開始しました。また、学校の文化祭やイベントで委託販売を利用させていただきました。

資料開発・出版・ウェブページ

ウェブページ・SNS

より充実した情報をお届けするため、団体ウェブページの改訂を随時行っています。また、メンバー間の情報発信・交流ツールとしてメンバー専用ブログの設置を行いました。



資料開発・出版

活動ガイドブック、団体パンフレット、フェアトレード案内資料をリニューアルしました。また、大月書店より「チャレンジ! キッズスピーチ」書籍3巻セットのための執筆を行い出版されました。



外部ネットワークではフリー・ザ・チルドレン・ジャパンのビジョン、ゴールを実現することを目指し、様々なセクター、組織と協働し活動しています。

教育協力 NGO ネットワーク (JNNE)



5月15日、衆議院第2議員会館で5年目となる「国会議員のための世界一大きな授業」を開催しました。当団体のメンバーの高校生10名が「先生」となり、国会議員21名に対して途上国の子どもの教育をテーマに授業を行いました。JNNEからはNGOの提言などを伝えました。

世界一大きな授業とは？

2003年より、180か国のNGOや教職員によるネットワークが毎年4月に実施しており、世界中の子どもたちが同じ期間に一齐に世界の教育事情について学ぶ「世界一大きな授業」が行なわれています。

子どもの権利条約フォーラム

2014年11月14日、子どもの権利条約フォーラムを開催し、フリー・ザ・チルドレン・ジャパンは幹事団体として参加し、元少年兵ミシェルの講演会を担当しました。



日比 NGO ネットワーク (JPN) : フィリピンでの開発支援活動を行う日本の NGO とフィリピンの NGO によるネットワーク。フォーラムや外務省との懇談会、団体間での情報交換を実施しています。

「動く→動かす」: ミレニアム開発目標 (MDGs) を達成し、貧困問題を解決するために 2005 年に発足した世界的な市民社会ネットワーク GCAP (Global Call to Action Against Poverty の略。ジーキャップ)。世界 131 か国にまで広がるこのネットワークの日本版として設立されたのが、「動く→動かす」です。現在、途上国の貧困問題解決に取り組む日本の NGO72 団体が参加しています。賛同団体としてネットワークに参加し、活動を実施。

児童労働ネットワーク (CL-Net)



6月1日-7月13日にかけて「ストップ！児童労働キャンペーン2014」を開催。9年目となる2014年は6月12日の「児童労働反対世界デー」にFIFAサッカーワールドカップが開幕されました。これを受け、児童労働ネットワーク (CL-Net) は、国際労働機関 (ILO) の「児童労働にレッドカード・キャンペーン」に賛同し、カードを掲げて写真を撮る「レッドカードアクション」を呼びかけました。FacebookやTwitter等のSNSを中心に情報発信をし、Facebookでは期間中約14万人にリーチし、twitterは学生を中心にリツイートで情報が広まりました。

日比 NGO ネットワーク (JPN)



フィリピンのより良い開発支援のための情報交換や、ネットワーク間での話し合い、及び外務省との連携を行いました。前年度に引き続きフィリピンのGGP（草の根・人間の安全保障無償資金協力。在外日本大使館が担当する途上国援助をするためのODAの一つのスキーム）の質的向上のため、外務省に対して提言及び意見交換会で発表を行った。また、超大型台風復興支援のためのチャリティーランを実施しました。

教育協力 NGO ネットワーク (JNNE)：開発途上国の子どもへの教育支援を行っている NGO によるネットワーク。登録団体間での情報交換、勉強会を実施しています。また、外務省との意見交換や政策提言なども行います。世界の全ての子どもへの良質な基礎教育提供を目指し、世界のEFA（万人のための教育）運動とつながって国内でのアドボカシーや政策提言などのキャンペーン活動を行っています。

児童労働ネットワーク (CL ネット)：児童労働の廃絶に向け、勉強会、キャンペーンなどを行っています。児童労働問題に取り組む NGO、労働組合、その他非営利組織、個人で構成されている。

海外自立支援事業

事業実施国一覧

海外支援事業では、フリー・ザ・チルドレン・ジャパンの目的の1つ「貧困や搾取から子どもを解放する」の実現に向け、権利が奪われている開発途上国の子どもたちやその家族を支援しています。



インド ..p26

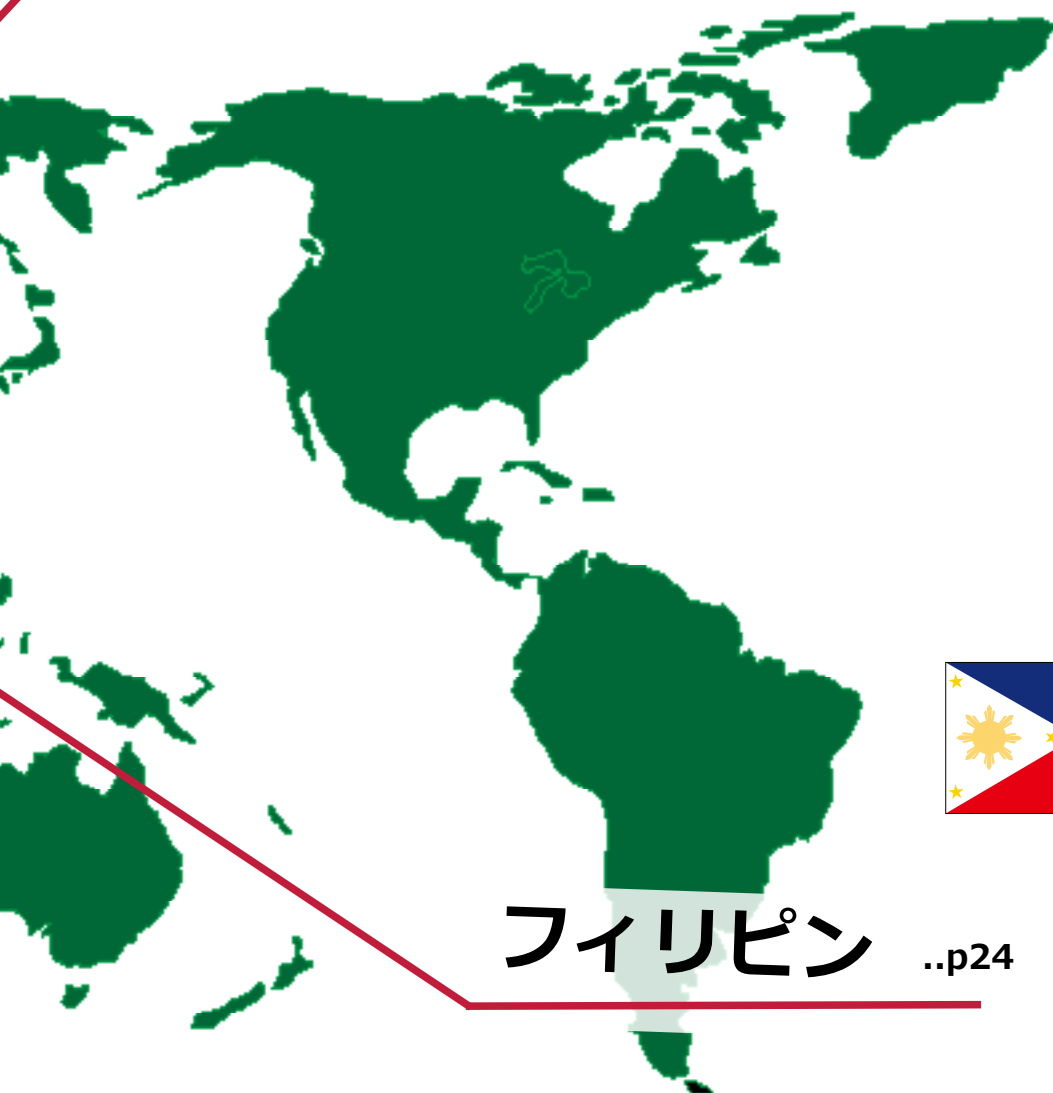


<事業内容>

1. 西ベンガル州の貧困下におかれた子どもの救出・自立支援活動
2. ラジャスタン州の貧困農村地域の子どもの支援活動

モンゴル ..p27

＜事業内容＞
図書室設置事業



フィリピン ..p24



＜事業内容＞

1. 先住民族の子どもへの教育支援
2. 緊急復興支援
3. 性虐待や刑務所から救出された子ども支援
4. スタディーツアー

フィリピン

先住民族アエタ族コミュニティへの水支援 助成協力：かけはし支援基金



ミンダナオ島ディババウォン族の子ども 300 人



ミンダナオ島

手紙を通じて交流しながら子どもを支援する「文通プログラム」を通して集まった資金とご寄付、助成金を使い、フィリピン・ミンダナオ島の台風被害に遭った専従民族コミュニティに暮らす中等教育を受ける年齢の子どもたちを対象にした通学の奨学金のサポートや台風被害で心に傷を受けた子どもたちの心のケアや病気予防、災害時の対処法などの知識を学ぶことができるワークショップの実施、教育支援物資の支給を実施しました。

性虐待や刑務所から救出された子ども支援

指定寄付や江ファトレード商品の購入資金によって、フィリピン・ルソン島オロンガポに位置する現地パートナー団体ブレダ基金を通して、性的虐待・搾取を受けた少女や、路上や刑務所から救出された少年への教育、自立支援を実施しました。



子ども約 200 人



フィリピン・ルソン島オロンガポ

ブレダ基金 (Preda Foundation Inc) とは？

オロンガポ市にある現地N G Oで、「子どもや女性、貧困層の人々を守る」ことを目的に、1974 年、アイルランド人のシェイ・カレイ神父とフィリピン人のヘルモソ夫妻によって設立されました。性的虐待や刑務所から子どもを保護・支援する活動や、貧困層の自立にむけフェアトレード事業も展開しています。

緊急復興支援



主な
受益者

被災者 5,449 人



対象
地域

パナイ島、レイテ島、
セブ島、サマル島

2013 年 11 月にフィリピンを直撃した台風 30 号「ハイヤン（ヨランダ）」により、甚大な被害を受けた中部のパナイ島、レイテ島、セブ島、サマル島において、緊急復興支援を実施し、現地 NGO や自治体、効率学校などと連携し被災した子どもやその家族を対象に、子どもの心のケアのためのワークショップや、学校再建修繕事業、生計維持支援事業、子どもへの奨学金支援事業を実施しました。

スタディーツアー



主な
受益者

日本人参加者 5 人
フィリピン現地住民 150 人



対象
地域

日本人参加者 5 人
フィリピン現地住民 150 人

2015 年 3 月 25 日～ 31 日にかけてフィリピン パナイ島及びマニラ首都圏を訪問するツアーを通じて訪問先でのボランティアや交流事業を実施しました。中高生 3 人、社会人 2 人が参加しました。

インド



CCD マクタニール養護施設運営支援



Center for Communication and Development(CCD)



インド 西ベンガル州



インド西ベンガル州の路上や貧困から救出された
子どもなど 52 人

文通しながら子どもを支援する「文通プログラム」の収益とクラウドファンディング ReadyFor を通じて集まった寄付などで、路上や貧困から救出された子どもと貧困家庭で暮らす子どもが学校に通え、栄養ある食事で健康に過ごせるよう「教育支援及び健康改善支援」を実施しました。具体的には、学校に通うために必要な制服や文房具、ワークショップ教材費や食事の提供、健康医療支援プログラムを実施することができました。

農村自立支援：学校建設事業



ヴェルデラ村の 200 人の子どもたち



ラジャスタン州ウダイプール周辺
ラジャスマンド地方農村地域

村には学校がありましたが、とても古く、狭く、窓が小さく暗い教室で授業が行える状況ではないため学校再建が必要であることがわかったので、チョコプロの収益や学生主体の「学校建設チーム」や多くの方のご寄付により、建設費が集まったため、2014 年度から村と連携して学校の建て直しをスタートすることができました。

農村地域自立支援：保健衛生支援

寄付協力：JANIC NGO サポート募金、その他多数ご寄付



**主な
受益者**

村に住む約 300 世帯（1,050 人）
特に女性や子ども

**対象
地域**

ラジャスタン州 ラジャスマンド地区
ベルダラ村

村の住民の家庭を訪問し教育、収入、健康状態等の調査を実施しました。また、39 世帯に、無煙ストーブ（煙突付かまど）を設置し女性に使い方と手入方法のセミナーを実施しました。健康向上、増進のためのヘルスキャンプを実施し 1,004 人の住民が参加しました。キャンプでは健康診断や治療、衛生面や栄養、女性の健康についての特別ワークショップを実施しました。

モンゴル

図書室設置事業



**主な
受益者**

支援地に住む 3,000 人の子ども

**対象
地域**

ウランバートル市
バヤンズルフ地区第 92 号学校

協力者

モンゴルカルチャーパーク アルタン・ウルジー氏 / 学校との連携

2008 年より 5 年間、モンゴルの伝統家屋のゲル図書館を運営し、たくさん子どもたちが本を読んだり、友達と遊んだり、勉強をしたりしに来てくれていましたが、完成より 5 年がたち、ゲルの寿命が来たためこの図書館は 2012 年夏を持って閉鎖されましたが、今後も子どもたちが本を読む機会を提供し続けるために、2014 年 3 月に学校に常設の図書室を開設し、2014 年度は図書室の運営マニュアルを作成し、運営のサポートを行いました。

2014年度 活動計算書
2014年4月1日～2015年3月31日
特定非営利活動法人 フリー・ザ・チルドレン・ジャパン

(単位:円)

科 目	予 算 額		実 績 額	
I 経常収益	小計	合計	小計	合計
1. 会費・入会金収入				
正会員会費	400,000	400,000	180,000	180,000
2. 寄付金・募金収入				
寄付金・募金	11,683,000	11,683,000	9,930,492	9,930,492
3. 事業収入				
自主事業収益	11,453,000	11,453,000	10,614,347	10,614,347
4. 助成金・補助金収入				
助成金	4,750,000	4,750,000	2,405,500	2,405,500
5. その他収入				
受取利息	3,000		1,483	
雑収入	30,000	33,000	55,955	57,438
経常収益合計		28,319,000		23,187,777
II 経常費用	小計	合計	小計	合計
1. 事業費				
(1)人件費				
給料手当	6,750,000		6,705,575	
法定福利費	63,000		57,745	
(2)その他経費				
支払寄付金	3,523,000		1,481,240	
印刷製本費	290,000		266,125	
旅費交通費	10,397,000		9,230,760	
業務委託費	2,310,000		1,990,500	
研修・施設会場費	722,000		993,161	
諸会費	88,000		114,335	
消耗品費	343,000		541,403	
保険料	11,000		16,700	
通信運搬費	457,000		753,845	
商品材料	400,000		618,672	
雑費	96,000		20,625	
地代家賃	1,282,000		1,206,745	
水道光熱費	194,000		187,135	
支払手数料	150,000		255,274	
租税公課	56,000	27,132,000	58,100	24,497,940
2. 管理費				
(1)人件費				
給料手当	1,920,000		2,144,209	
法定福利費	17,000		11,826	
(2)その他経費				
印刷製本費	30,000		58,545	
旅費交通費	265,000		263,622	
業務委託費	100,000		0	
研修・施設会場費	50,000		270,117	
消耗品費	100,000		85,870	
保険料	0		0	
諸会費	0		4,065	
通信運搬費	69,000		89,883	
地代家賃	267,000		247,175	
水道光熱費	48,000		38,326	
支払手数料	24,000		47,118	
租税公課	0		11,900	
雑費	33,000	2,923,000	8,477	3,281,133
経常費用合計		30,055,000		27,779,073
当期経常増減額		-1,736,000		-4,591,296
当期正味財産増減額				-4,878,069
前期繰越正味財産額				11,475,431
次期繰越正味財産額				6,597,362

(注) 旧特定非営利活動促進法第28条第1項の収支計算書を活動計算書と呼んでいます。

財務諸表注記

1.重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日NPO法人会計基準協議会)によっています。
同基準では、特定非営利活動促進法第28条第0項の収支計算書を活動計算書と呼んでいます。
(1)棚卸資産の評価基準及び評価方法
棚卸資産の評価基準は原価基準により、評価方法は総平均法によっています。

2.事業費の内訳

事業費の区分は以下の通りです

(単位:円)

科目	子ども主体	子ども活動応援	外部ネットワーク	海外自立支援	アドボカシー	合計
(1)人件費						
給料手当	0	1,723,323	236,963	2,491,150	2,255,149	6,706,575
法定福利費	11,549	11,549	11,549	11,549	11,549	57,745
人件費計	11,549	1,734,872	247,502	2,502,699	2,266,698	6,763,320
(2)その他経費						
支払寄附金	0	0	0	1,491,240	0	1,491,240
印刷製本費	27,137	44,457	1,607	15,287	177,837	266,125
旅費交通費	77,841	4,852,157	63,741	2,615,455	1,611,525	9,230,760
業務委託費	0	696,193	0	0	1,294,307	1,990,500
研修・施設会費	56,837	526,825	41,499	43,659	324,311	969,161
諸会費	3,957	3,957	96,967	3,957	5,457	114,385
消耗品費	95,847	92,301	92,211	92,071	188,973	541,408
保険料	0	16,700	0	0	0	16,700
通運郵便費	65,884	65,884	65,884	187,394	388,329	763,345
商品材料	0	0	0	0	618,672	618,672
雑費	4,125	4,125	4,125	4,125	4,125	20,625
地代家賃	241,349	241,349	241,349	241,349	241,349	1,206,745
水道光熱費	37,427	37,427	37,427	37,427	37,427	187,135
支払手数料	42,999	51,751	43,529	57,487	59,618	255,274
租税公課	11,620	11,620	11,620	11,620	11,620	58,100
その他経費計	965,023	6,654,765	689,968	4,791,811	4,953,251	17,734,820
事業費計	976,572	8,389,638	937,461	7,294,510	7,220,950	24,497,940

貸借対照表

特定非営利活動法人フュー・ザ・ワールド・ジャパン
特定非営利活動法人フュー・ザ・ワールド・ジャパン

単位:円

平成27年3月31日現在

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		未払金	1,778,545
現金	494,127	預り金	262,381
小口現金	169,337	流動負債計	2,040,926
普通預金	6,783,699	負債の部合計	2,030,926
外貨	290,432	正味財産の部	
現金・預金計	7,727,494	【正味財産】	
(売上債権)		正味財産	6,597,362
未収金	173,929	(うち当季正味財産増加額)	△ 4,878,069
売上債権計	173,929	正味財産計	6,597,362
(棚卸資産)		正味財産の部合計	6,597,362
商品	614,617		
棚卸資産計	614,617		
(その他流動資産)			
前払金	2,818		
その他流動資産計	2,818		
流動資産合計	8,618,759		
【固定資産】			
(有形固定資産)			
什器備品	272,853		
減価償却累計額	△ 272,853		
有形固定資産計	0		
(無形固定資産)			
借地権	90,000		
電証加入権	19,630		
無形固定資産計	109,630		
固定資産合計	109,630		
資産の部合計	8,628,288	負債・正味財産の部合計	8,628,288

監査報告書

監査報告書
平成27年3月31日現在

特定非営利活動法人フュー・ザ・ワールド・ジャパン
代表理事 中島 功 郎

特定非営利活動法人フュー・ザ・ワールド・ジャパン
監事 呂島 珠

私、監事は、特定非営利活動促進法第18条の規定に基づき、2015年度(2014年4月1日から2015年3月31日まで)の会計業務の監査を行いました。その結果につき次のとおり報告します。

- 2
- 監査の方法の概要
会計監査については、会計帳簿及び関連書類の閲覧など必要と思われる監査手続を実施し、財務諸表などの正確性を検証しました。
 - 監査意見
収支決算書、財産目録増減計算書、貸借対照表及び財務諸表は、会計監査の全額を覆し、法人の収支決算及び財産目録を正しく示しているものと認めます。

以上

助成金（順不同）

世田谷区国際平和交流基金（活動ヒント講座）、かけはし支援基金（フィリピン先住民族の子どもへの教育支援事業）、公益信託オラクル有志の会ボランティア基金（ニュースレター、活動ガイドブック）

寄付・協賛協力（順不同）

株式会社チャンピオン（東日本大震災支援、15周年事業）、株式会社リップル・キッズパーク（15周年事業）、株式会社ウエストコースト（15周年事業）、株式会社ワイズ・インフィニティ（15周年事業）、新名交電機株式会社（15周年事業）、株式会社若菜企画（15周年事業）、カネマツ自動車株式会社（15周年事業）

活動協力：株式会社プランタン銀座（チョコレートプロジェクト）、大月書店（キッズスピーチ出版事業）、コースアクション（コンサルタント）

活動助成協力：JANIC・NGO サポート募金（インド 保健衛生支援）

2014 年度メディア掲載情報

テレビ：日本テレビ「世界一受けたい授業」

機関紙：1 件 NTT 労組

教材：5 件 高校家庭科教科書 2014 生活学 Navi、中学公民教科書ビジュアル公民 2014、高校英語教科書 UNICORN、高校英語教科書 English Now !、中学公民教科書『ビジュアル公民 2014』

新聞：8 件 読売新聞、河北新報、読売中高生新聞、YOMIURI ONLINE、流通ニュース、東京新聞、バンクーバー経済新聞、サンケイスポーツ

雑誌：1 件 国際開発ジャーナル 4 月号、re-request QJ 10 月号

メディアで取り上げられました



日本テレビ系列「世界一受けたい授業」に出演しました！



チョコプロの活動が
読売中高生新聞で取り上げられました！



特定非営利活動法人 フリー・ザ・チルドレン・ジャパン

〒157-0062 東京都世田谷区南烏山 6-6-5 3F

TEL : 03-6321-8948 (受付 10 : 00-19 : 00)

FAX:03-6323-6504

info@ftcj.com www.ftcj.com

★フリー・ザ・チルドレン・ジャパンは、2012年3月16日、国税庁よりの認定NPO法人として認定されました。これにより、当団体に対する皆さまからの寄付・募金は「特定寄附金」とみなされ「寄附金控除」の対象となります。詳しくは団体ホームページをご覧ください。